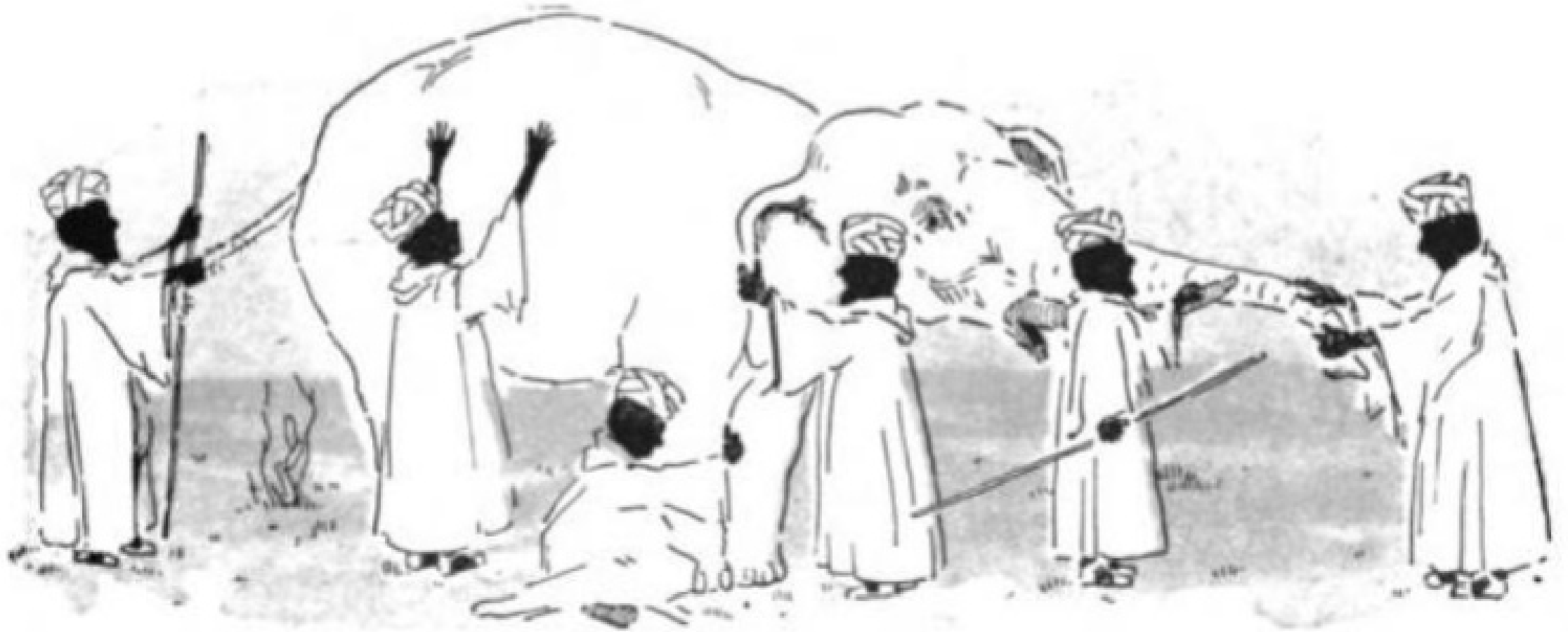


統合失調症

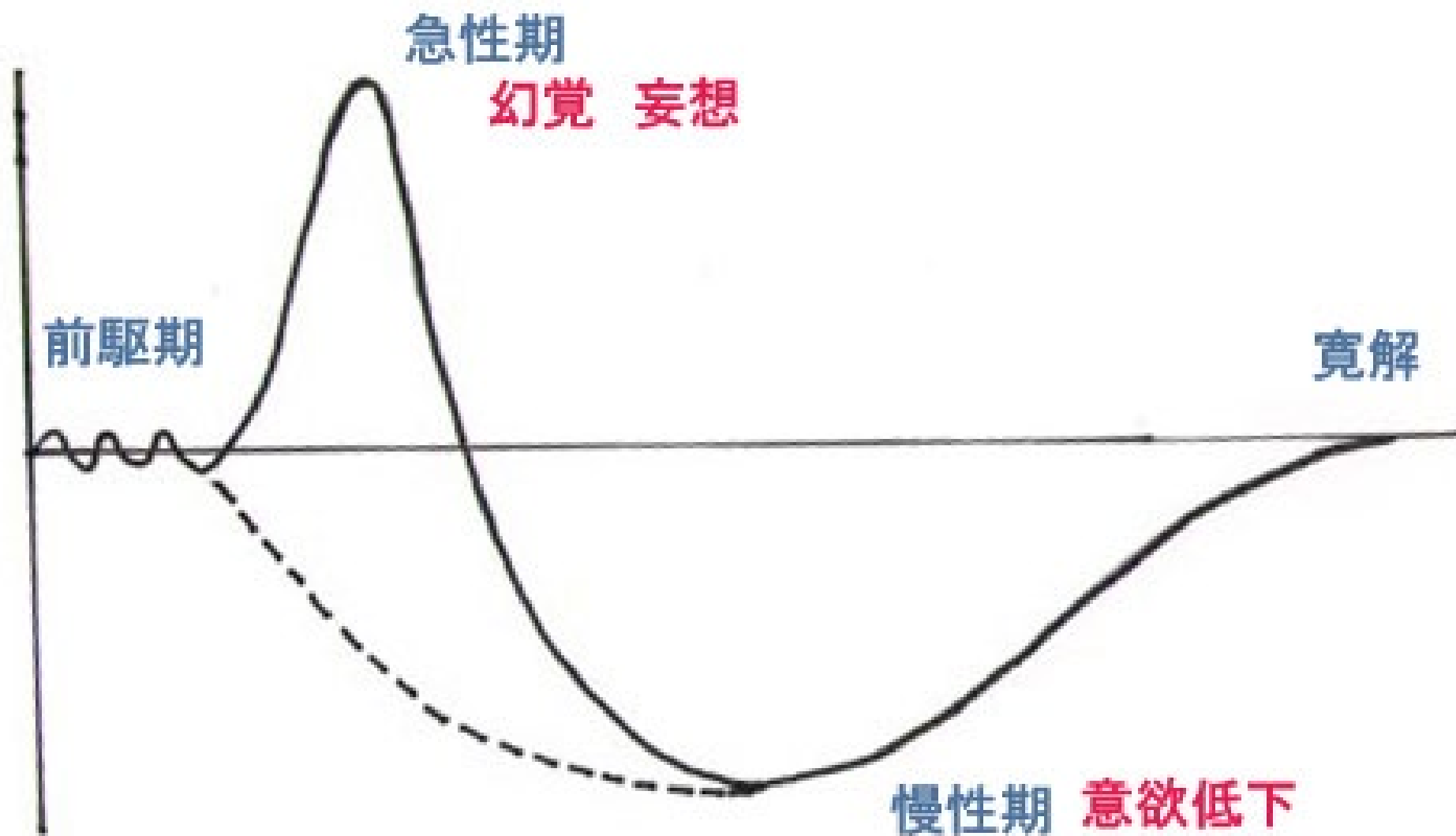
(旧姓 精神分裂病)

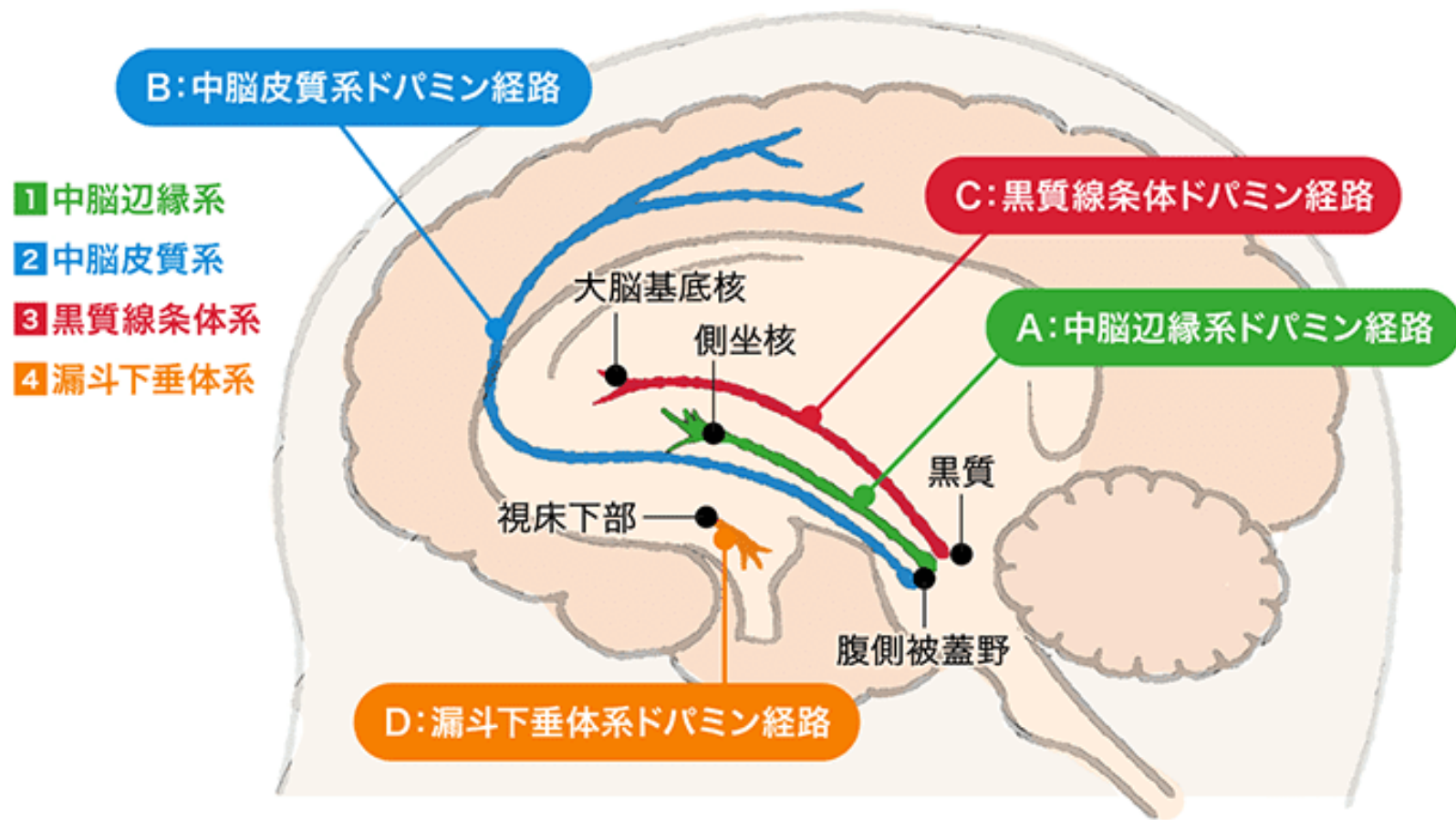
The Blind Men and the Elephant

(John Godfrey Saxe | 1872)

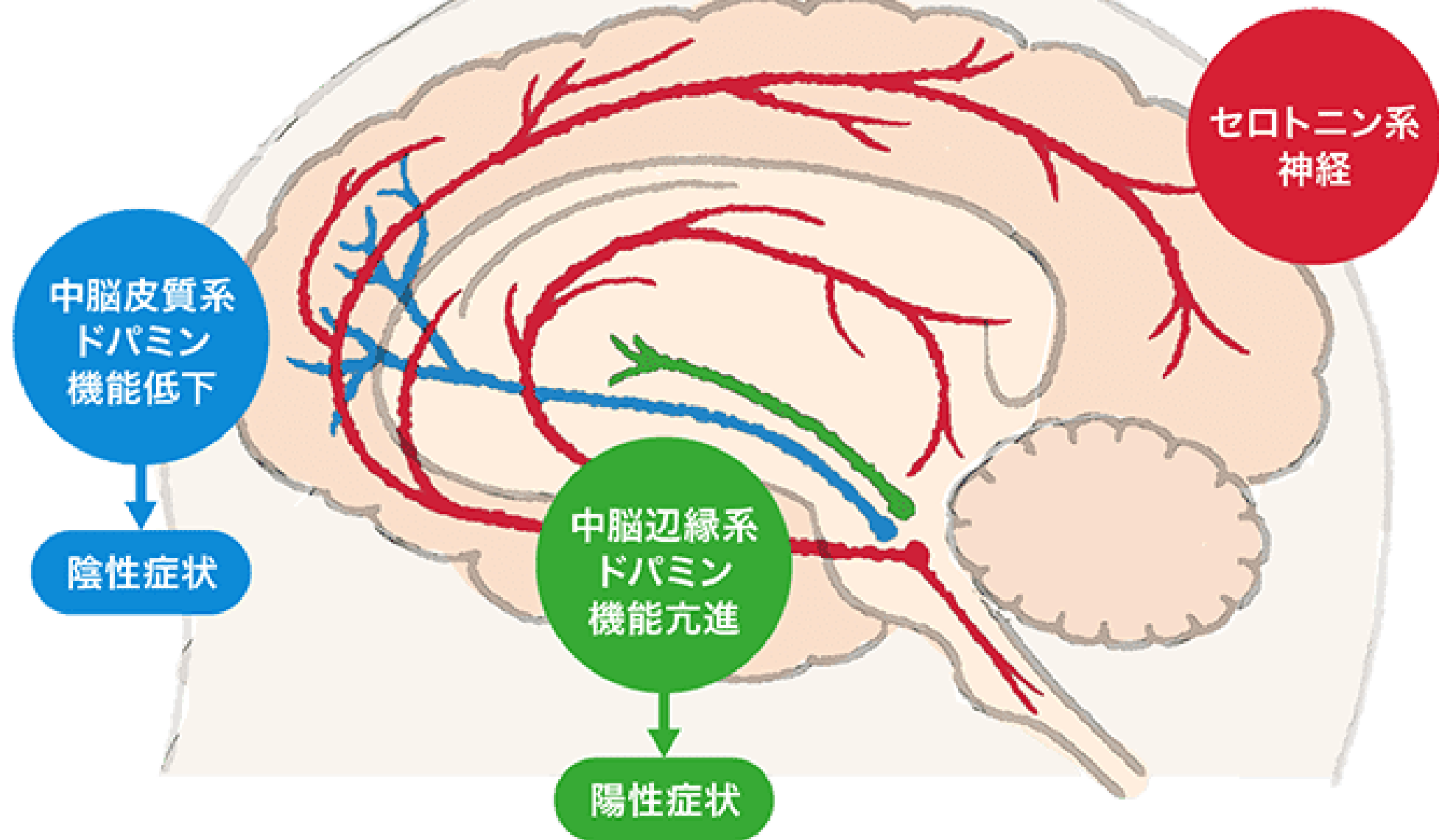


Golden treasury readers 1909





- A** 陽性症状に関連
- B** 陰性症状、認知機能障害に関連
- C** 錐体外路症状に関連
(手足が震える、動作が鈍くなる、目が上を向いたままになる、舌が出たままになる、足がむずむずする、じっとしてられないなどの運動機能障害)
- D** 乳汁分泌、月経障害、性機能障害などに関連



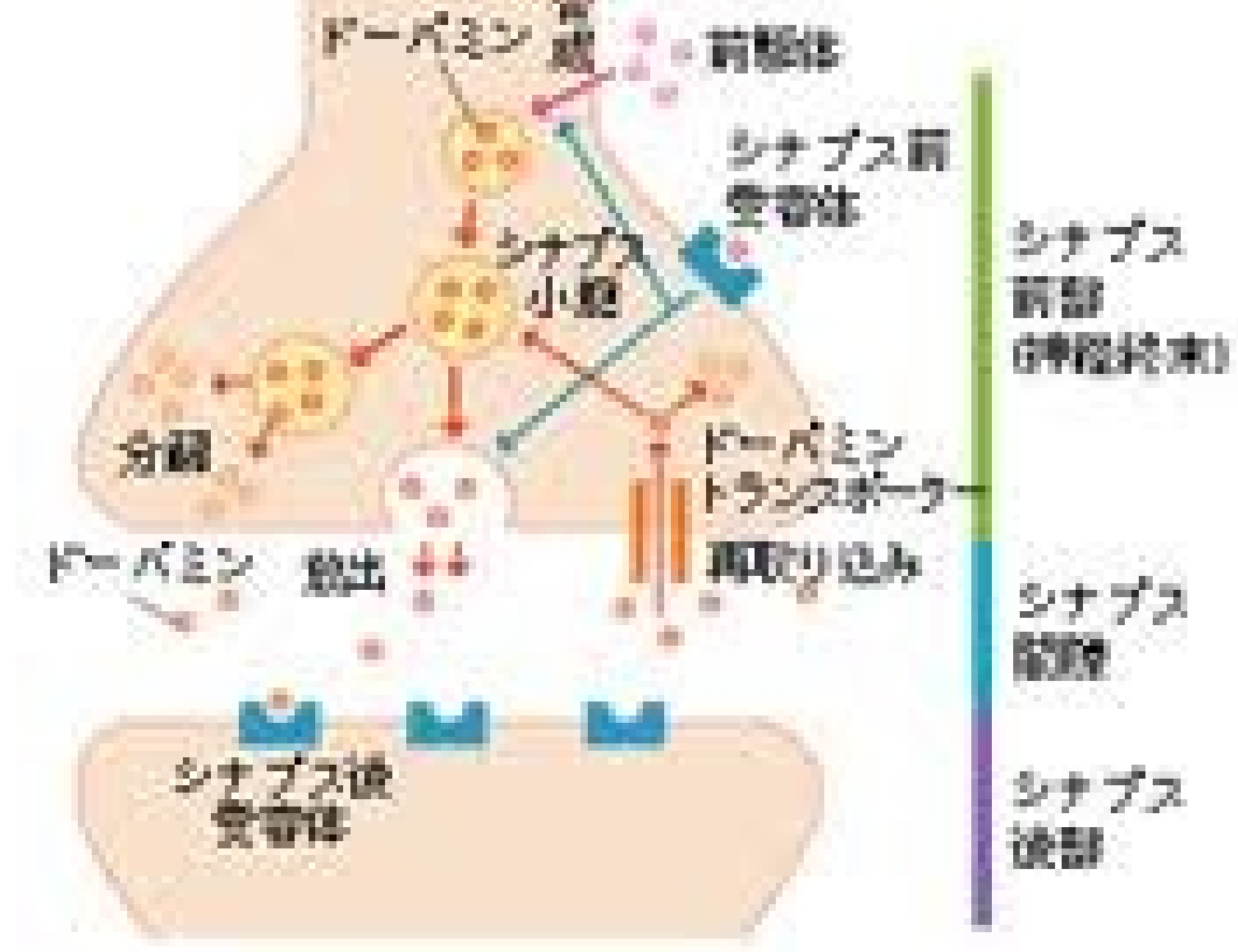


図1 ドーパミン神経のシナプスの図

ブロイラーの基本症状 (1908)

基本症状とは ブロイラーのあげた基本症状は以下の4つであり、英語圏ではその頭文字をとって「4つのA」と称される。

- (1) 連合弛緩（思考障害） association loosening
- (2) 感情障害（感情鈍麻） affect disturbances
- (3) アンビバレンス（両価性） ambivalence
- (4) 自閉 autism

副次症状とは 一方、副次症状は知覚の障害（幻覚）・妄想・記憶障害・緊張病性症状・急性症状などである。

急激にあらわれた幻覚・妄想などの急性症状は、ブロイラーの分類では副次症状ということになる。ブロイラーは、これらの副次症状は疾患に対する患者の心理的反応部分と考えた。

シュナイダーの一級症状 (1959)

統合失調症における急性期に見られる特徴的な症状を指す。これに代表される明確で激しい症状を陽性症状と呼ぶ

1 考想化声

自分の考えが声として聞こえてきてしまう。

2 話しかけと応答の形の幻聴

相互的な会話ができる幻聴が聞こえ、幻聴と会話する。

3 自分の行為を批判する幻聴

自分の行為について口出しする幻聴が聞こえ、それに振り回されてしまう。

4 考想伝播

自分の考えが周囲に知られてしまっているという妄想。それにより周囲を敵視するようになり、周囲からのサポートを受けにくい形となる。

5 させられ体験

自分の行動は誰かにさせられているのだという確信をもつ。

ICD-10の統合失調症の診断基準

- (a) 考想化声、考想吹入あるいは考想奪取、考想伝播
- (b) 支配される、影響される、あるいは抵抗できないという妄想で、身体や四肢の運動や特定の思考、行動あるいは感覚に関するものである。それに加えて妄想知覚
- (c) 患者の行動を実況解説する幻声、患者のことを話し合う幻声。あるいは身体のある部分から聞こえる他のタイプの幻声
- (d) 宗教的あるいは政治的身分、超人的力や能力などの文化的にそぐわないまったくありえない他のタイプの持続的妄想（たとえば、天候をコントロールできるとか宇宙人と交信しているなど）

(e) どのような種類であれ、持続的な幻覚が、感情症状ではない浮動性や部分的妄想あるいは持続的な支配観念を伴って生じる、あるいは数週間か数カ月間毎日継続的に生じる

(f) 思考の流れに途絶や挿入があるために、まとまりのない、あるいは関連性を欠いた話し方になり、言語新作がみられたりする

(g) 興奮、常同姿勢あるいはろう屈症、拒絶症、緘黙、および昏迷などの緊張病性行動

(h) 著しい無気力、会話の貧困、および情動的反応の鈍麻あるいは状況へのそぐわなさなど、通常社会的引きこもりや社会的能力低下をもたらす「陰性症状」。それは抑うつや向精神薬によるものでないこと

(i) 関心喪失、目的欠如、無為、自己没頭、および社会的引きこもりとしてあらわれる、個人的行動のいくつかの側面の質が全般的なに、著明で一貫して変化する

「(a) ～ (d) のいずれかに属する症状のうち、少なくとも1つの明らかな症状がある（十分に明らかでない場合は2つ以上）」

「(e) ～ (h) の少なくとも2つの症状が1ヶ月以上ほとんどいつも明らかに存在していなければならない」

引用：ICD - 10 精神および行動の障害—臨床記述と診断ガイドラインを参考に編集

DSM-5の統合失調症スペクトラム (Schizophrenia Spectrum) という考え方

DSM-5では、統合失調症が『自閉症スペクトラム』と同じように一連の連続体（スペクトラム）と見なされるようになっており、統合失調症のカテゴリーに含まれていた『妄想性障害・統合失調症様症状・短期精神病性障害』などもスペクトラムの一部に包摂されている。統合失調症スペクトラム（Schizophrenia Spectrum）とは、統合失調症の限定的な中核症状に基づいて、その有無や重症度、持続時間を分別する一連の連続体のことであり、統合失調症スペクトラムには軽症から重症まで様々な統合失調症的な症状の人が含まれている。

DSM-5では、統合失調症の中核症状を以下の5つと定義

その症状の有無・重症度・持続時間を判断していく

1. 妄想
2. 幻覚
3. 思考の解体・疎通性のない会話
4. 非常にまとまりのない言動・緊張病性の行動
5. 陰性症状（感情の平板化・無為）

DSM-5の統合失調症スペクトラムに包摂される障害

症状がはっきりと現れない軽症のものから、現実検討能力が失われる重症のものへ順番に並べる

1. 統合失調型パーソナリティ障害
2. 妄想性障害（旧パラノイア）
3. 短期精神病性障害
4. 統合失調症様障害
5. 統合失調症

DSM-5の変革

1. シュナイダーの1級症状についても、古典的な精神病理学理論に基づくものであり、統合失調症以外の精神障害でもそれらの1級症状は見られることがあるため、統合失調症だけに見られる特異的な症状とは見なせないとされた。
2. DSM-IVまでは、上記した5つの中核症状のうちの2つが確認されれば統合失調症という診断が下されていたが、DSM-5では『妄想・幻覚・解体した思考（疎通性のない会話）』といった陽性症状が必ず一つは含まれていなければ診断できないことに決められた

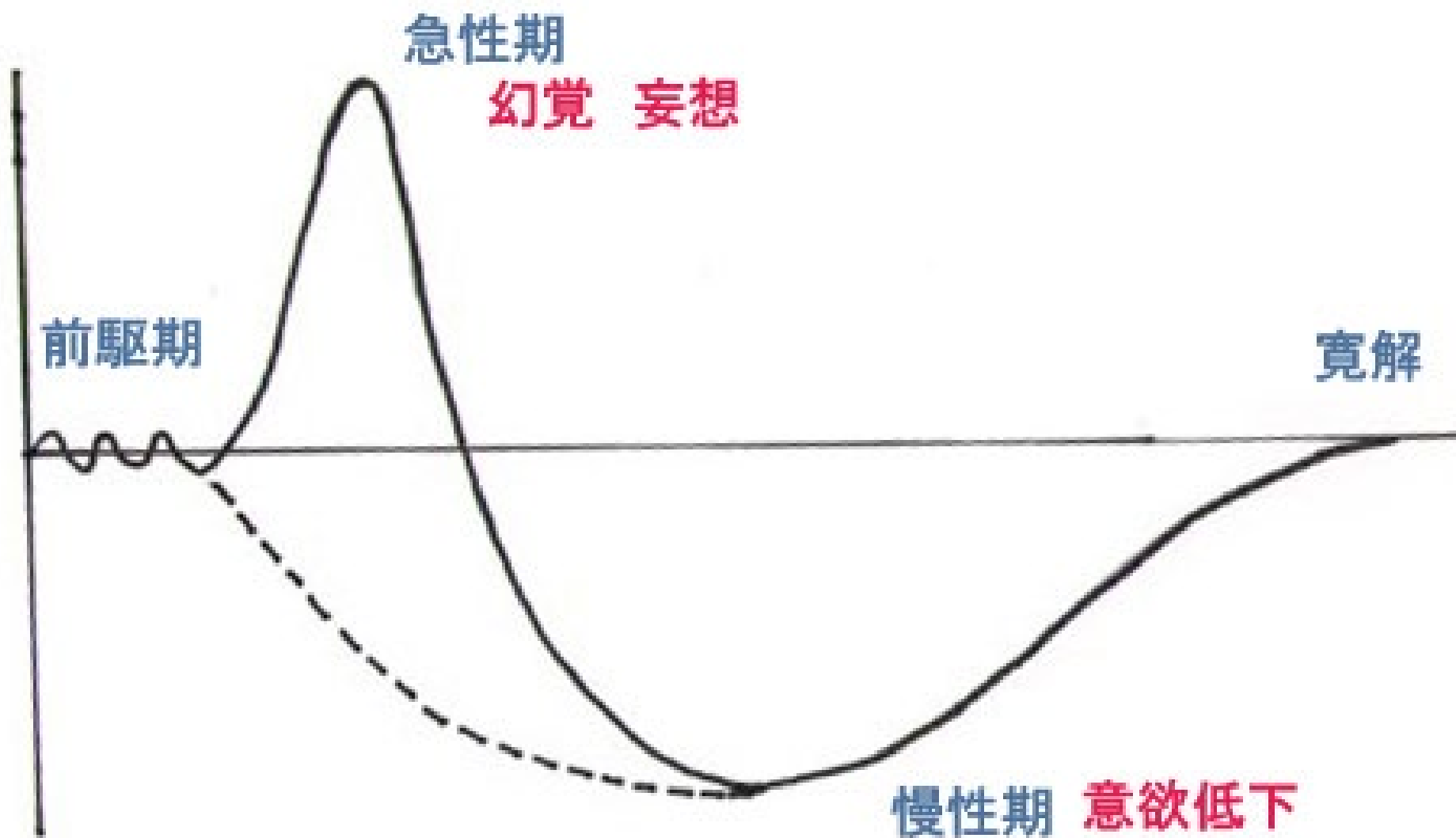
3. DSM-5では症状の曖昧さの問題があった統合失調症の亜型分類も削除されて、それぞれの患者の中核症状の違いについては、緊張病性障害の有無や中核症状（主領域）の多元的診断で確認するようになっている
4. 精神障害の各種の中核症状（主領域）の重症度を評価する尺度として、『治療者評価精神病症状重症度ディメンション（CRDPSS：Clinician-Rated Dimensions Psychosis Symptom Severity）』というものが作成されている

The Clinician-Rated Dimensions of Psychosis Symptom Severity

- 1.Hallucinations:** This assesses the presence and severity of hallucinations (e.g., hearing voices) experienced by the individual in the past seven days. The severity ranges from “not present” to “severe” based on clinical judgment.
- 2.Delusions:** This evaluates the presence and severity of delusional beliefs (e.g., false, fixed ideas) experienced by the individual. Similar to hallucinations, the severity ranges from “not present” to “severe.”
- 3.Disorganized Speech:** This dimension focuses on the clarity and coherence of an individual’s speech. The severity ranges from “not present” to “severe,” with options for mild and moderate levels of disorganization.
- 4.Abnormal Psychomotor Behavior:** This assesses abnormal or bizarre motor behavior, including catatonia. The severity ranges from “not present” to “severe.”

Additionally, the measure considers negative symptoms (restricted emotional expression or avolition), impaired cognition, depression, and mania¹. It provides valuable insights for clinicians in characterizing patient status and guiding treatment decisions.

Please note that this measure is not a standalone diagnostic tool but can enhance clinical decision-making when used alongside other assessments and clinical judgment. If you have any further questions or need additional information, feel free to ask!



統合失調症の特徴的症状

陽性症状（急性症状）

あるはずのないものが現れる

幻覚、妄想、させられ体験、思考伝搬

陰性症状（慢性症状）

あるべき活動が乏しくなる

意欲低下、感情鈍麻

統合失調症の亜型(タイプ)

DSM-V では使われない

1. 緊張型
極度の緊張や奇異な行動が中心
2. 妄想型
幻覚や妄想が中心
3. 破瓜型（解体型）
意欲低下、感情平板化が中心
4. 鑑別不能型

緊張型

青年期に急性発症することが多い。。

あちこち動き回る行動異常、叫んだりする奇声、奇妙な姿勢をとるなどがみられる。数カ月の治療で症状改善するが、再発もまれではなく、再発するたびに意欲低下、感情平板化などの陰性症状が目立ってきてしまうケースもある。破瓜型よりは予後はよいとされ、早期に症状が消えて社会復帰できるケースも多くある。

破瓜型(解体型)

思春期から青年期にかけて発病することが多い。

感情の起伏がなくなったり、意欲が減退するなどの陰性症状が現れ、その後、陽性症状が顔を出すこともある。慢性化することが多く、人格の変化などがあり、予後はあまりよくないとされる。

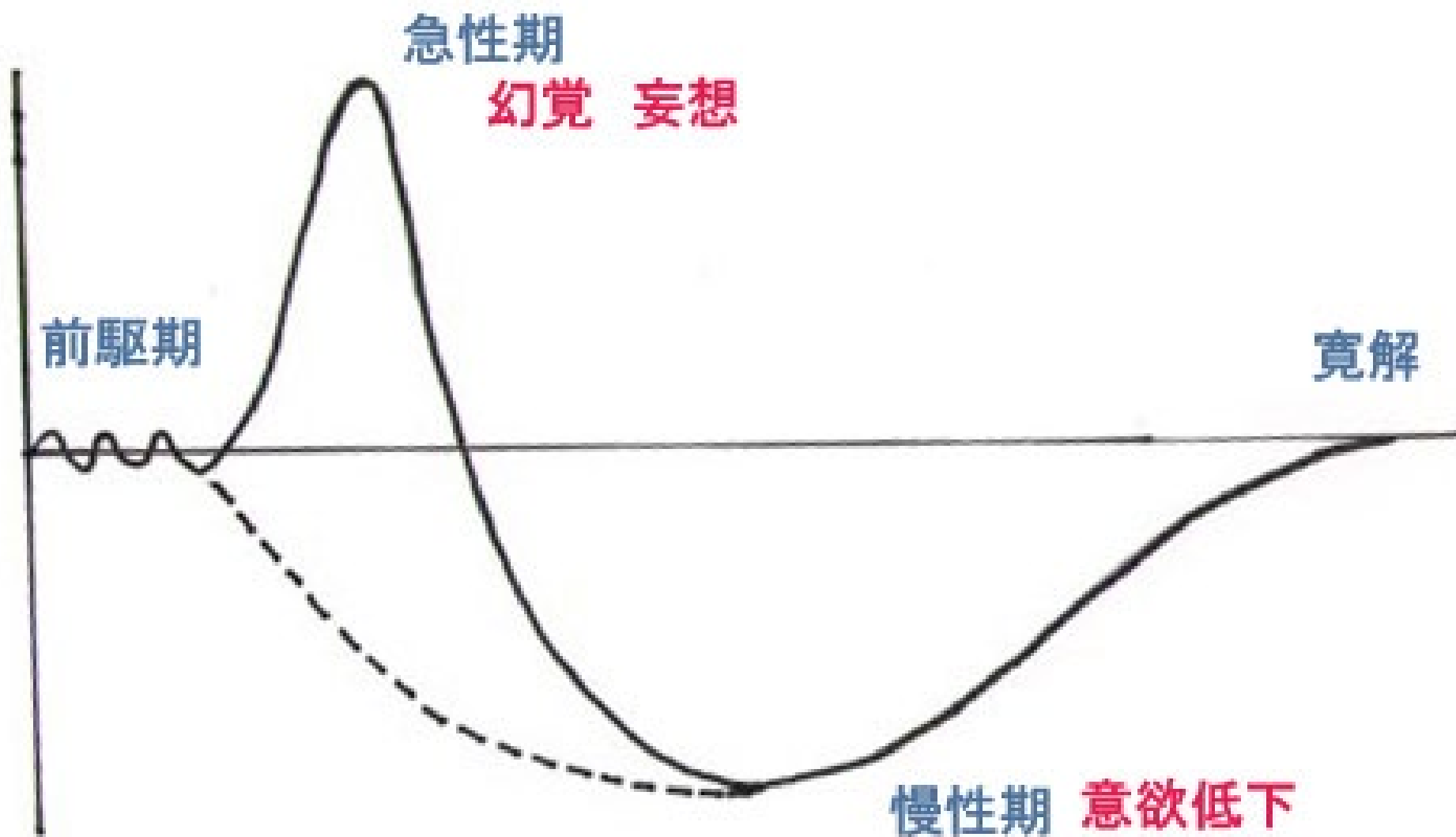
妄想型

多くは30歳前後に発病し、破瓜型、緊張型より発症年齢が遅い傾向にある。

幻覚や妄想が中心で、陰性症状は目立たないことが多い。コミュニケーションは比較的良好なことが多く、人格変化も軽い。予後はよいケースが多い。

鑑別不能型

どの亜型にも合致しないか、症状の組み合わせがはっきり有意に立つことなく、2つ以上の亜型の特徴を示すもの。



統合失調症治療上の注意点

- しっかりと服薬を
- 副作用については主治医と十分な連携を
- ストレスに注意しながら社会復帰
一足飛びではなくてゆっくりレベルアップ
足りないところを責めず、良くなったところをみる
- 可能な限り、普通と同じ生活を確保する
そのために、精神症状を積極的に治療する

精神障害者の社会復帰

- 医療
院内作業療法
デイケア
- 福祉
障害者福祉サービス
介護サービス ヘルパー
訓練等給付
就労移行支援事業（2年間まで）
就労継続支援事業
A型 雇用契約を結ぶ 最低賃金を保証する
B型 非雇用型で働く場の提供
共同生活援助事業（グループホーム）

相談支援事業所
- その他 精神保健福祉センター
ピアサポート ボランティア（クレヨン）

病院中心から地域中心へ

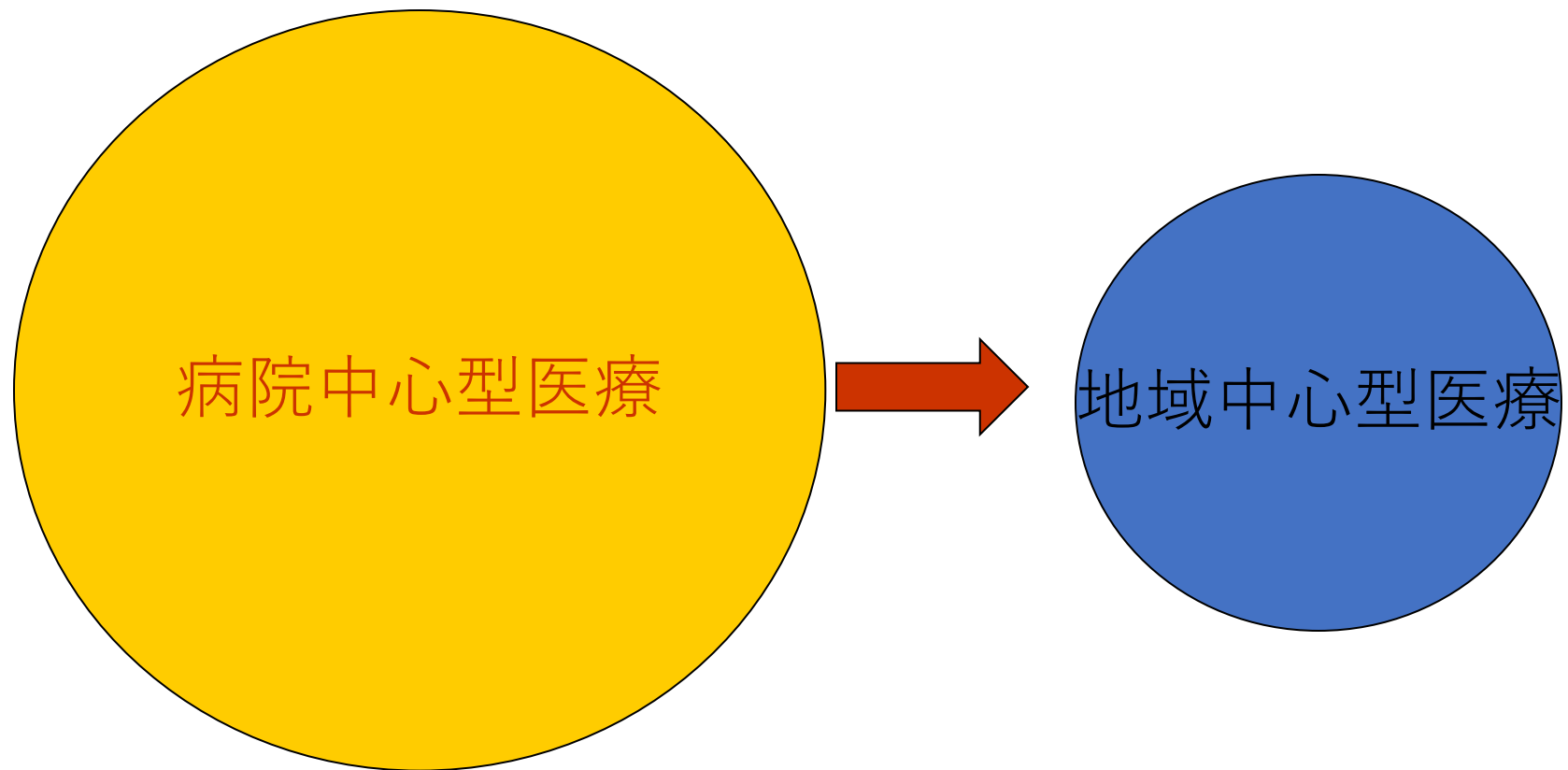




図1 7カ国精神病床比率(人口1,000人対比率)..

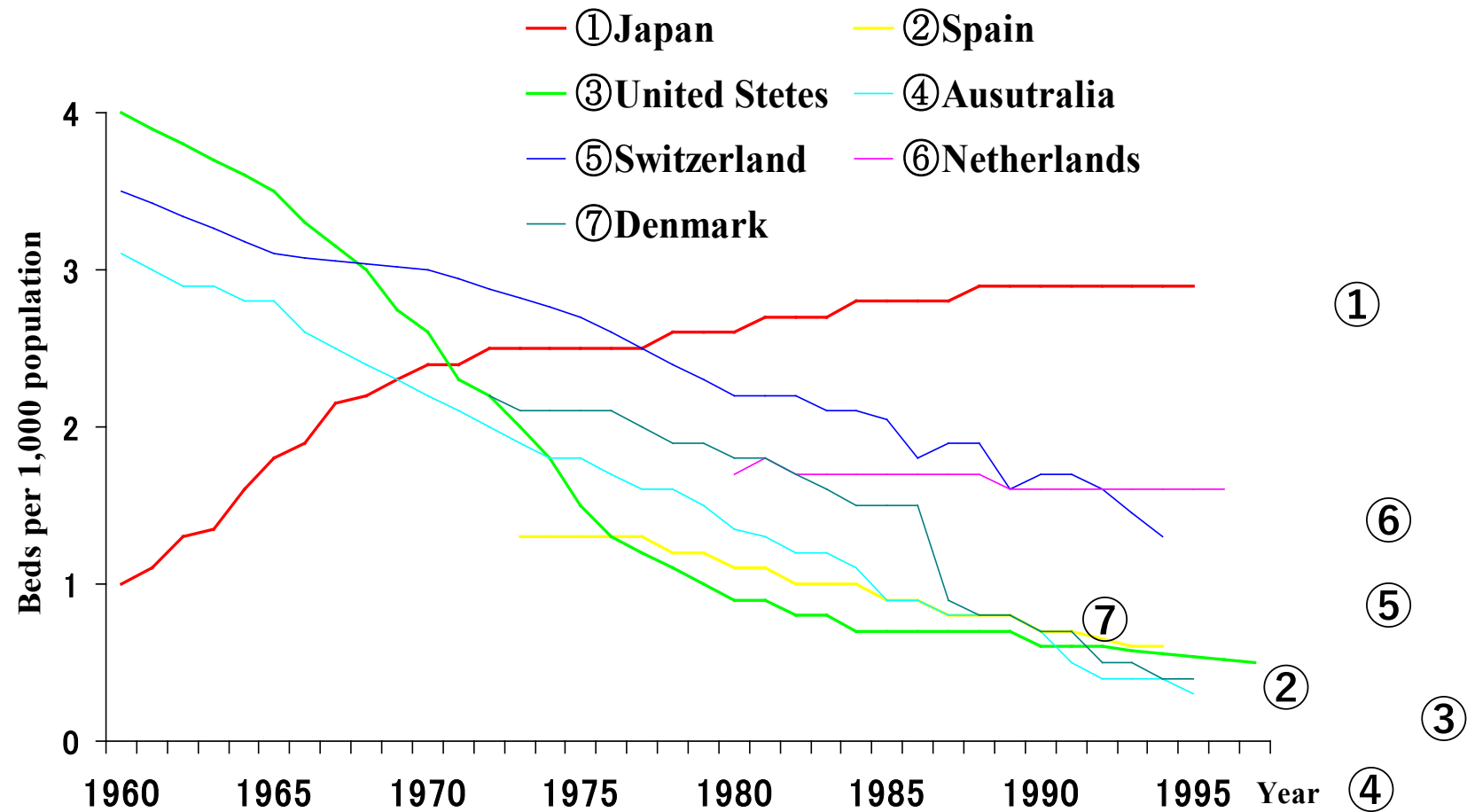
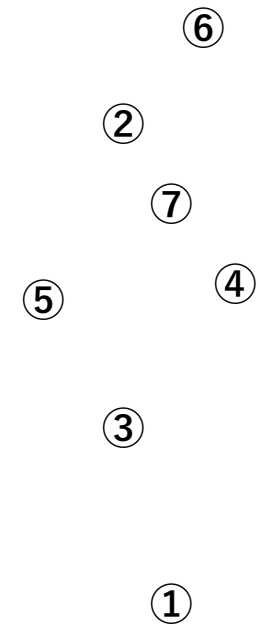
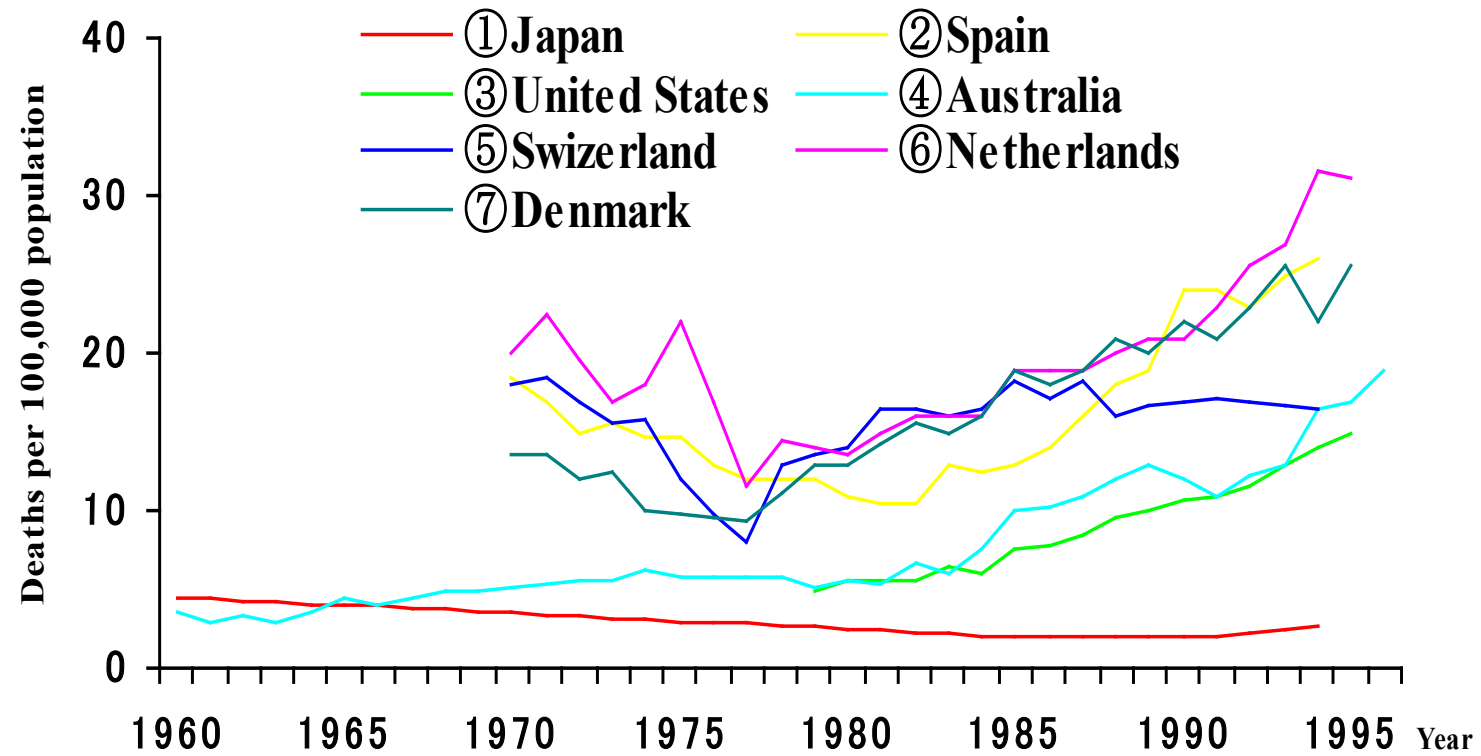


図2 精神障害者・薬物依存者死亡率（人口10万人対比率）



ノーマライゼーション

障害者も健常者と同じように、
住み慣れた地域で、
健康で文化的な
生活をおくる権利がある。

地域住民の皆さんへ

- 障害者は健常者の良き道しるべ
青少年の優しさ作り、高齢化社会にむけて
- 病気や障害を理解するチャンスは中学生から高校生
(鉄は熱いうちに打て)

だから、真に社会復帰しなければならないのは街の大人の健常者かもしれない

呉 秀三

「わが国十何万の精神病者は、実にこの病を受けたるの不幸の外に、この国に生まれたるの不幸を重ねるものというべし。精神病者の救済・保護は実に人道問題にして、わが国目下の急務といわざるべからず」 **(1918)** (精神病者私宅監置の実況, 1918)

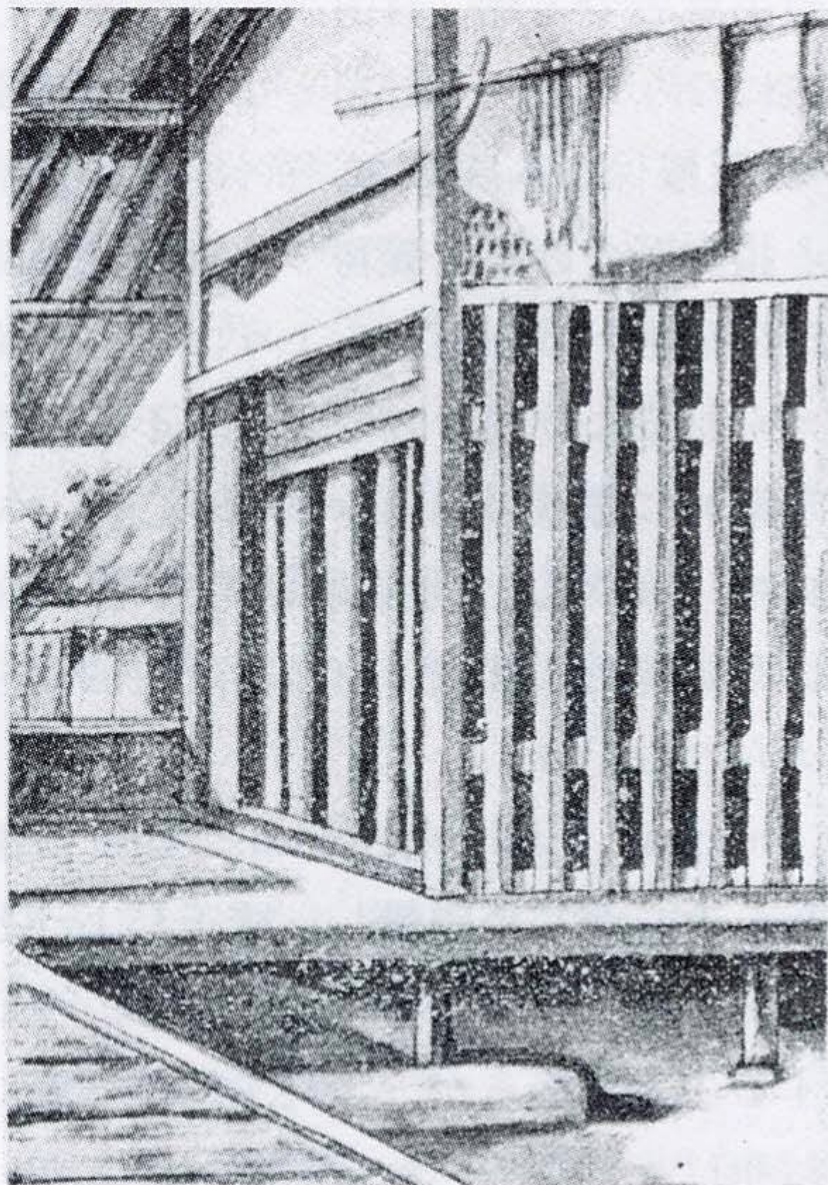
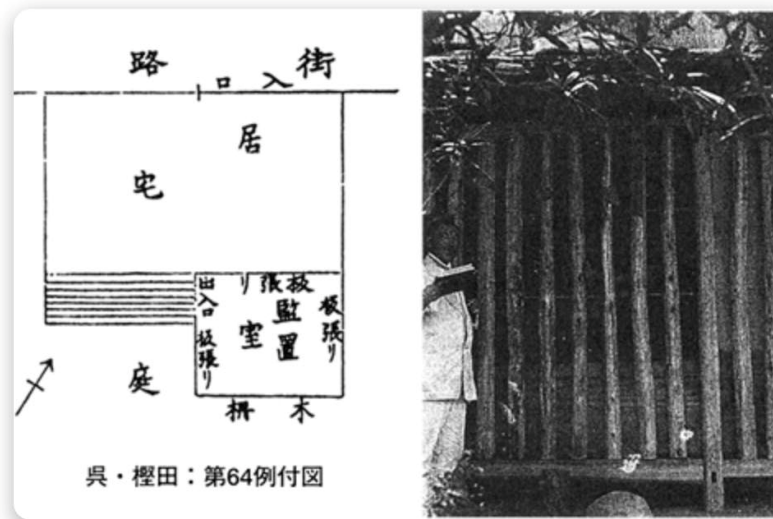


図 VI - 1. 座敷牢（私宅監置）（呉）
1950 年頃まであった。



図 VI - 2. 座敷牢の中の患者（呉）



(日本の私宅監置の様子と写真)



(私宅監置の拘束具)



● 吳 秀三 1865-1932



松原三郎 1877~1936

みどりの森 社会復帰センター 就労継続B型事業所 ジョブガーデン



どんな人が利用できる??

「病気や障害があるけど仕事がしたい！」

「仕事がしたいけど自信がない・・・」 etc

と思っている方。



さらに・・・

- 病状が安定している方
- 65歳未満の方



作業内容

1. 洗濯業務

入院患者さんの洗濯物をお預かりして、患者さんの代わりに洗濯を行う



2. 箱折り、蚊帳づくりなどの 内職作業

一般企業から受注をし、箱折り、蚊帳づくり等の内職作業を行う。
またペーパークラフトを使用したかばんなどの作成販売を行う



3. その他の仕事（不定期のもの）

草刈り

リサイクル業

引っ越し請負

障子張り

などなど

NPO法人 こころ
就労継続A型 C&Cサービス

・こころファーム外観



こころファーム外観



福井市東今泉町にて
営農しています！



作業の一部をご紹介します！

- 土の耕し
- 肥料まき
- 水やり
- 種植え
- 苗植え
- 草取り
- 収穫



水分をしっかりと与えて、土のお手入れを行います。



ビニールをかぶせ、風で飛ばされないよう土台を作ります。

- 花壇のあぜ作り



側溝から不要な土を出します。



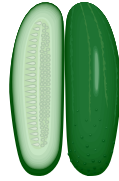
側溝から水が漏れないように板をはめ込む作業です。

栽培作物

トマトの苗は2週間でこんなに大きく成長しました！



小松菜
ほうれん草
菌床シイタケ



ハーツに出品中！

おくら

なす

トマト

きゅうり

とうもろこし等



5/1撮影



5/14撮影

売店

病院内の売店でレジ打ち、商品管理を行なう。また病棟からの注文品の配達なども担当。



喫茶店

売店横の喫茶コーナーにて、コーヒーや紅茶を提供。昼食時にはうどん・そば・カレーの調理・販売も行なう。メニューもメンバーさんが開発



院内清掃

松原病院の清掃委託を受けて院内の掃除を行なう。

